

公募審査（採択）結果の公表

令和7年2月18日
経済産業省商務・サービスグループ生物化学産業課

事業名：令和6年度補正再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備投資支援事業費補助金

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
アデコ株式会社	8010401001563	38,332,306,000

(提案事業者名)
①アデコ株式会社
②一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム
※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

(審査委員属性)
税理士
大学教授
弁護士
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
アデコ株式会社	73	70	91	234
一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム	59	62	61	182

提案事業者名	提案書の記載内容	提案内容が本事業の目的に合致しているか。	事業の実施方法が具体的かつ現実的か。	事業の実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか。	事業の関連分野に関する知見を有しているか。過去に類似の業務を実施した実績があるか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、必要となる経費・費目を過不足無く考慮し、適正な積算が行われているか。	事業を遂行するための資力、資金調達能力を有しているか。資金計画は妥当か。	合計
アデコ株式会社	適	13	26	22	50	35	49	19	20	234
一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム	適	10	15	21	36	25	39	18	18	182

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
アデコ株式会社	・広報、市場調査、人材育成など、事業者の課題とそれらに対する解決策が、申請段階で各所にヒアリングを踏まえたものとなっており、非常に具体的であった。 ・複数年度の予算事業執行を見据えた予算執行上の手続き面での工夫や留意点が、過去の予算執行経験や補助金ルール等を踏まえたものとなっており、非常に具体的であった。 ・再生・細胞医療・遺伝子治療の専門知識については不足しているように見受けられるため、体制として再委託先や外注先等を適切に活用しながら補う必要がある。
一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム	・公募要領の策定、確定検査の実施など、補助金事務局として必要な標準的な実施内容については具体性をもって記載されていた。 ・CDMO産業における課題やそれらに対する解決策についての現時点での分析等が提案に含まれていないため、事業者採択後の伴走支援について具体的に欠ける内容であった。 ・広報、市場調査、人材育成など、事業者採択後の伴走支援について、不足しているリソースをどう補うのかを含めた実施体制が不明確であった。